

広報さくら

◆◆ 第119号 ◆◆ 令和7年3月22日
発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ○ごあいさつ……………校長、会長 …… 2～3 | ○アカデミア明誠 …………… 10 |
| ○後援会主催講演会… …………… 4 | ○強歩大会 …………… 11 |
| ○山梨私学のつどい報告 …………… 4 | ○令和6年度強歩大会支援活動報告… 12 |
| ○誠祭…………… 5～7 | ○謝恩会を振り返って…………… 13 |
| ○誠祭活動報告…………… 8 | ○令和6年度 後援会活動報告 |
| ○賀詞交換会、後援会活動の様子…… 9 | 編集後記 …………… 14 |



今年度のトピックスとしては、なんとも新校舎での教育活動がスタートしたことでしょう。使い勝手がわからず、試行錯誤

しながらの利用でしたが、猛暑の中でも校舎に入れば別世界、トイレはとても綺麗で温水洗浄が設置され蛇口からは常に温水が出るなど、細かいところまで行き届いた快適な学校生活が実現されました。また教室にはICT環境が整えられ、様々な利用方法の研修が行われ、授業への活用が進んできました。それにしただって授業内容の高度化、効率化が図られ、今年の3年生の日本大学進学率が過去最高の数字となったことは、少なからずその成果の現れと言えます。

課外活動については、4月にダンス部が初の全国制覇を果たしたのを皮切りに、県高校総体においてサッカー部が優勝、野球部が準優勝など、文化部の文芸部を含めて8部で関東大会への出場を決めました。広報部が発行する「号外」が次から次へとその活躍を伝え、大いに学校が活気づいた1年間でした。学校行事に取り組む生徒たちの姿勢も良く、それぞれの行事で学校が一体となって大いに盛り上がってきたと自負しております。

明誠高校の教育の柱となっているのが文武両道で、学業と課外活動との両立が生徒の人格陶冶に資すると考えております。それは必ずしも勝利至上主義ではなく、それぞれの立場で学業や諸活動に精いっぱい頑張れたかどうか大きな価値があると思います。10年以上前ででしょうか、某カード会社のCMに「プライスレス」というキャッチコピーが使われていました。「思い出はプライスレス」などです。高校時代に一生懸命取り組んだことはまさにプライスレスで、大人になって何億円払っても買うことができない価値あるものなのです。明誠の生徒たちはまさにプライスレスの宝物を手に入れてきたのではないのでしょうか。

4月からは3年生はそれぞれの進路に、1・2年生は学年が一つ上がります。また新たな気持ちで自分の立ち位置での頑張りに期待いたします。



令和6年5月の定期総会にて後援会会長という大役を仰せつかり、早いもので残り僅かとなりました。後援会の皆様にご協力いただき、また校長先生をはじめ、先生方にご指導いただきながら無事に3年間を終えようとしております。

さてこの一年間の後援会活動を振り返りますと、待ちに待った最新設備の新校舎にて緊張で何を申し上げたか分からない総会での会長挨拶から始まり、6月の研修部の企画による研修会では日本大学生物資源科学部にお伺いし各学科の特徴や生徒の学校生活や研究の話など熱意をもって説明いただきました。また広大な敷地にある農場、博物館、多彩な研究施設や貴重な設備の説明があり、参加した保護者自身も学びたい気持ちになる素晴らしい教育環境を体験することが出来ました。

9月には後援会主催で本校スクールカウンセラーの三宅先生による講演会を開催いたしました。「子どもの心に寄り添う、思春期の子どものかかわり方について」をテーマにご講演いただき、共感と理解の大切さやコミュニケーションの工夫、子どもが話しやすい雰囲気作りについて考えさせられるとても意義のある講演でした。

11月の誠祭では、バザー・お茶処「誠風」を実施し、多くの方に喜んでいただき2月の強歩大会運営に役立てる売り上げを出すことが出来ました。バザー品の提供にご協力いただきました保護者の皆様、後援会OB、教職員の皆様に心より感謝申

し上げます。2月の学校行事の強歩大会では、14kmあるコース上の安全管理をおこない、寒い中ゴールへ向かって爆走してきた生徒



達へ豚汁とおにぎりを振舞いました。ゴールでのあったかい豚汁を頬張ったときに見せてくれた素敵な笑顔がとても印象的でした。そして後援会最後の行事として、3月に行われる卒業謝恩会では3年生の保護者からお世話になった先生方に感謝の気持ちを込めて開催されます。この広報が発行される頃には、盛大に行われていることでしょう。

最後に、頼りない私に協力的で優しく支えてくださった役員、委員の皆様、教職員の皆様に心より感謝いたします。様々な活動に携わり子どもたちの成長と笑顔を肌で感じる事が出来たことは、私にとって大きな財産となりました。今後も長きにわたり、子どもたちの成長と笑顔をサポートできる後援会活動を継承し、会員の皆様が活動に積極的に参加できる後援会活動を願っております。1年間本当にありがとうございました。



令和6年9月7日(土) 本校多目的ホールにて、保護者対象の後援会主催講演会が実施されました。

今年度は、日本大学文理学部教授で本校のカウンセラーでもお世話になっている三宅詩子先生を講師にお迎えし、「子どもの心に寄り添う～思春期の子どもとのかかわり方について～」というテーマでご講演を頂きました。

講演では、それぞれの年代に見られる子どもたちの特性やその時々表れる特徴的な動作や仕草などをご説明いただきました。またコロナ禍を経験した今の子どもたちに多く見られる傾向など、

親として時にドキッとさせられる内容も多々お話ししていただきました。

どの過程においても、子どもたちは子どもたちなりにもがきながら少しずつ前進し、一生懸命生きているのだと感じ、あらためて親として身の引き締まる思いでした。

ご講演いただきました三宅先生、お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。また当日は多くの保護者の皆様にお集まりいただき、講演会を催す事が出来たことに感謝申し上げます。



2024 山梨私学のつどい報告

令和6年11月2日(土)、山梨学院大学メモリアルホールにて「2024山梨私学のつどい—私学振興大会—」が開催されました。

私学のつどいは隔年で開催され、県内の私立学校の教育環境整備、助成制度の拡充などを県へ要請する貴重な機会となっています。

各学校より集められた多くの署名が山梨県知事に手渡されたのち、決議が無事採択され、盛大に幕を閉じました。一人ひとりの想いが多くの可能性を秘めた子どもたちの未来に役立てることを心から切に願いたいと思います。

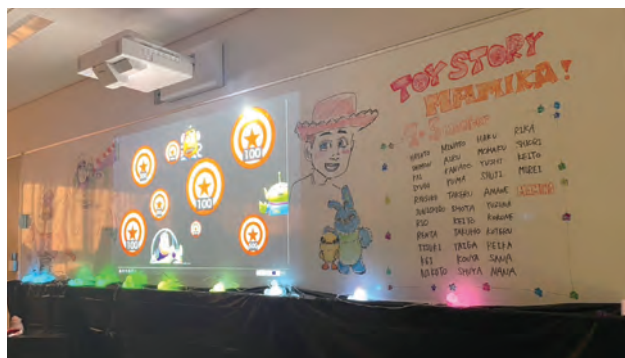
その後行われました基調講演では、プロのアドベンチャーレーサーとしてご活躍されている田中正人氏をお迎えし、「チームワーク」というテーマについてご講演いただきました。

自然界を相手にした極限状態でレースを戦っている田中さんのお話は、とても人間味に溢れ、人と人との繋がりや関係性を大いに考えさせられる内容でした。

今回、このような会に参加したことで得た経験を、また次の後援会活動に生かしていきたいと思っています。









日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、誠祭にてバザーとお茶処を開催致しましたので、ご報告申し上げます。

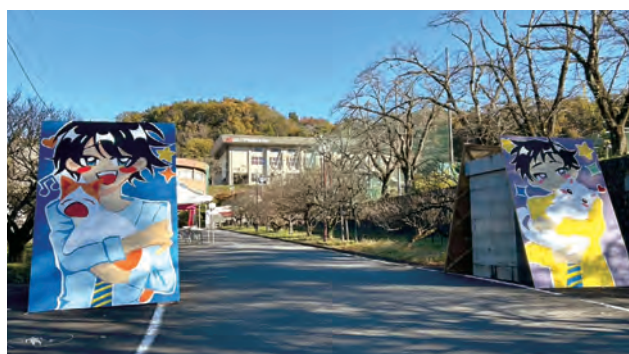
はじめに、バザー開催に向け、多くのご家庭からバザー品をご提供いただき誠にありがとうございました。皆様の温かいご協力のおかげで、バザーは大変な盛況を迎えました。2日間を通して、本当に多く皆様が足を運んでくださいました。中には、お客様が運営スタッフと会話を楽しむ場面も見られ、多くの笑顔があふれる楽しい時間となりました。

お茶処も大好評でした。お茶処では、地域や保護者の皆様、生徒の皆さんがくつろぎの時間を過ごしながら、お茶やジュースを楽しむ姿が見られ、心温まるひとときとなりました。想定以上の盛況に、提供するドリンクが足りなくなるかもと

ヒヤヒヤする場面もありましたが、何とか無事に2日間の運営を終えることが出来ました。

バザーとお茶処の売上は、2月の強歩大会で、生徒の皆さんに提供する豚汁やおにぎりの費用として活用させていただきました。

最後に、事前準備や当日運営にご尽力いただいた保護者の皆様、地域の皆様、後援会OBの皆様、そして教職員の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



賀詞交換会

1月11日



後援会活動の様子







2月22日(土)、肌寒さは残りつつも快晴の下、盛大に強歩大会が開催されました。今年も後援会支援活動として、生徒の皆さんに振る舞う豚汁作りと安全・安心確保のためのコース誘導を行いました。

6月の実行委員会立上げの際には、これまでに経験された2学年・3学年の皆さまからのアドバイスを踏まえ、1学年の役員・委員が積極的に協力を表明したことにより、早々に各グループのリーダーとサブリーダーを決めることができ、徐々に準備を進めてきました。

また、11月からは本格的に取組みを開始し、「生徒の皆さんが喜ぶ顔を見よう！」を合言葉に1学年が一致団結したことも昨日のことにように思い出されます。

当日のスタート時には、生徒の皆さんは少し緊張気味の印象を受けましたが、ゴールの際の表情

は全力を出し切った疲労感と満足感に溢れ、「来年は自分も出走するか！」そんな気持ちを起こさせる感動を与えてもらいました。



生徒の皆さんがゴール後にはがぶがぶと飲む「水」が最高に美味しそうでした。

最後に、大会の支援にご協力いただいた役員、委員、保護者の皆さま、そして運営にご尽力いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。今後も後援会活動にご理解・ご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。



謝恩会を振り返って

謝恩会実行委員長 小林 美津子

旅立ちの春、令和7年3月1日

卒業証書授与式の後、京王プラザホテル八王子にて謝恩会を無事行う事が出来ました。

当日は、3学年生徒会や、有志に協力いただきクラス毎作成した、先生方への感謝動画を上映。

そしてメインイベントとして、学年担当の先生方へお礼の言葉を添えて花束をお渡し致しました。

在学中は先生方とお話する機会も少ない為、食事をしながら三年間お世話になった感謝の気持ちをお伝えし、先生からは子供達を思い、ご指導くださったエピソードなど聞く事が出来ました。

そして保護者同士でも話が弾み、大変思い出に

残る、素敵な時間を過ごす事が出来ました。

最後になりますが、会を運営する為に協力してくださった後援会役員、委員、また会員の皆様に紙面を借りてお礼を申し上げます。

ありがとうございました。



令和6年

- 5月 後援会定期総会・第1回役員会・新旧歓送迎会
球技大会
- 6月 学部訪問 日本大学生物資源科学部
学年別委員会
- 7月 日本大学明誠高等学校後援会奨学生授与式
「広報誌さくら」118号発行
- 9月 後援会主催講演会
- 10月 学年別委員会
- 11月 私学のつどい
学年別委員会
誠祭バザー・お茶処準備・実施

令和7年

- 1月 賀詞交換会
- 2月 学年別委員会
アカデミア明誠
強歩大会支援準備・実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報誌さくら」119号発行
- 4月 入学式
第2回役員会(予定)
- 5月 第3回役員会(予定)
定期総会・新旧歓送迎会(予定)

◆編集後記◆

今年度の広報誌さくらも最後の発行となりました。
先生方をはじめとした多くの方々にご尽力頂いた
おかげもあり数多くの行事を行い、生徒達の成長と青春
を感じる1年となりました。

皆様はどんな事が思い出に残っているのでしょうか。
広報誌さくらが、少しでも思い出とリンクしていたら
嬉しい限りです。

発行にあたり、関わってくださった皆様ありがとうございました。

